

2018年6月29日

日立ヘルスケアシステムズ、電子カルテ製品のラインアップ強化

日立ヘルスケアシステムズは、有床・無床診療所向け電子カルテ製品のラインアップを強化。この度、有床診療所向けのクラウド型電子カルテサービスの提供を開始した。また、電子カルテと検査画像ビューアを1台のシステムに統合し、診察に必要な機能を集約した無床診療所向けの画像ビューア一体型電子カルテシステムを7月初旬から提供を開始する。

今回、提供を開始する新製品は、初期費用や運用コストを抑えることができるため、導入がしやすい電子カルテである。電子カルテの普及が進んでいない有床・無床診療所への導入を支援し、医療の質の向上と地域医療連携の実現に向けた基盤づくりに貢献する。

日立ヘルスケアシステムズは、2000年12月、前身となる日立メディカルコンピュータの設立以来、病床のない無床診療所および調剤薬局に対し、電子カルテをはじめとする医科・歯科・調剤向けの医療情報システムや医療機器を提供してきた。一方、日立製作所は病床数200床未満の病院に電子カルテを提供してきた。本年4月、日立製作所はヘルスケア事業の拡大に向け、電子カルテ事業および医療機器事業に関する保守サービスなどを日立ヘルスケアシステムズに集約し、地域包括ケアシステムの中で重要な役割を果たす地域の病院や診療所向けに、医科・歯科・調剤の医療情報システムから医療機器の販売、保守などのサービスをワンストップで提供する体制を構築した。

今回、提供を開始する電子カルテは、日立製作所から一部事業を継承後、初めての製品である。電子カルテの普及を促進し、医療従事者の業務効率化を図ることで、患者一人ひとりに対する診療時間を確保し、医療の質の向上、また診療情報のデジタル化による地域包括ケアシステムの構築を支援する。

以上